

〔時慶卿記〕文祿二年正月五日、院御所○正親町御心チ急ノ義ニ早參、少焉崩御、六日過シ曉院ヲバ盜出シ奉リ、泉涌寺ヘ成シマキラセ候、二月廿三日、正親町院御葬禮戌刻ニアリ、○中略泉涌寺ノ構ノ口ニ奉侍也、○中略其後下火、則各歸洛ナリ、

○按ズルニ、本文御葬所ノ事見エザレドモ、宮内省ノ陵墓一覽ニ、正親町院天皇陵、京都府山城國紀伊郡深草村トアリ、即チ所謂深草法華堂是ナリ、

〔皇年代略記後陽成〕元和三年八月廿六日、崩於洞宮、同九月廿日壬申、奉葬泉涌寺、翌朝奉納御骨於深草法華堂、

〔後方朝臣記後水尾院崩〕延寶八年八月十九日乙亥、今朝寅上刻、太上法皇○後水尾圓淨政仁名終崩御也、○中略申刻般舟院陽空長老來駕、口狀書一通持參、前例多候間、此度仙洞御火葬に願候、深草安樂行院ニ治御骨、骨堂モ、後陽成院崩御之時分出來、其以後破損ニテ、雨露モ掛リ候體如何ニ候間、此度之事願之由、御灰ヲ泉涌寺ニ治申也、

〔近代帝王系譜〕明正院 元祿九年十一月十日崩、同月廿五日、葬于泉涌寺、

〔近代帝王系譜〕後光明院 承應三年九月廿日、依庖瘡於仙洞崩、同年十月十五日、葬于泉涌寺、

〔近代帝王系譜〕後西院 貞享二年二月廿二日崩、同年三月七日、葬于泉涌寺、

〔近代帝王系譜〕靈元院 享保十七年八月六日崩、同月廿九日、葬泉涌寺、

〔近代帝王系譜〕東山院 寳永六年十二月十七日、申刻依庖瘡崩、○中略同七年正月十日、葬泉涌寺、

〔近代帝王系譜〕中御門院 元文二年四月十一日、依御急症崩、同年五月八日、葬于泉涌寺、

〔近代帝王系譜〕櫻町院 寛延三年四月廿三日崩、同年五月十八日、葬泉涌寺、

〔公卿補任桃園〕寶曆十二年七月廿一日、天皇崩、八月廿二日、奉葬于泉涌寺、

〔公卿補任光格〕文化十年十二月十六日、後櫻町院遣詔奏、○中略同夜奉葬于泉涌寺、